

第1回定例会は2月22日から3月25日までの35日間にわたって開かれました。市長から提案のあった議案は、07年度関連議案が16件、08年度の予算関連議案が35件、人事案件が1件の52件。その内、共産党市議団は38件に賛成し、一般会計など14件

に反対しました。「日米地位協定の早期見直しを求める意見書」を全会一致で国に提出しました。また、請願は継続案件を含め3件ありましたが、1件は審議未了、後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出など2件は不採択となりました。

代表質問に井坂しんや議員、討論にねぎしかずこ議員

米国は交戦中の国、市長にその認識はあるのか

米国は、イラクやアフガニスタンで戦争をしている交戦国です。その米軍の基地の所在地が戦争に巻き込まれる危険があることについて市長の認識を問いました。基地問題を扱う上で市長が片時も忘れてはならない基本問題だからです。ところが市長は「仮定の問題だから答えられない」と他人事のような答弁。米軍基地を抱える横須賀市の基本的な問題について国際的に通用する見解も示せないようでは、市民の命と安全を守る責任は果たせません。

どうなった、原潜乗組員の放射能被ばく事故

尋ねたことにも答えない米軍をなぜ市長は信頼できるのか？



また、原子力空母の安全性の問題では、前回も質問した原潜の乗組員が被曝した事故の詳細を尋ねましたが、米軍から何の報告もないとのことでした。些細なことでも報告が来ると市長は米軍を信頼していますが、米軍は軍事機密優先のため、尋ねたことにも答えられないのです。「信頼する」とくり返すだけで安全が確保できるのでしょうか。

再編交付金、原子力空母受け入れや

国に従うことが条件では地方自治を壊す

07年度の補正予算に米軍再編に伴い、国から交付される再編交付金関連の事業が含まれていました。

私たちは、再編交付金については、①米軍の再編と原子力空母の受け入れが前提条件となっていること、②国に従わない自治体には交付しないという地方自治をないがしろにするやり方を国が取っていること、などを理由として反対をしました。

地方自治体に国の財政の失敗を押し付け、財政難に導いておいて、国のいうことを聞くようにお金をちらつかせるやり方は、地方自治を破壊し、民主主義の発展を損なうものとして許せません。

●国民健康保険の保険料、所得の低い人が増額に

●「後期高齢者医療制度」の保険料は全国最高額

共産党市議団はキツパリと反対しました



本会議の討論で反対理由を述べている
ねぎしかずこ議員
教育経済常任委員

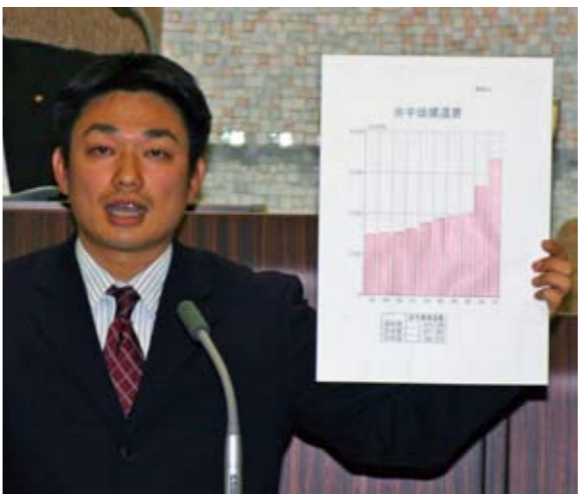


2年前の小泉内閣のもとで強行採決された「医療制度改革」(後期高齢者医療制度、国民健康保険料の改定、療養型ベッド数の削減など)によって私たちの医療が厳しい状況に追い込まれています。

国民健康保険では、国の保険料算定方式に従った結果、多くの低所得者の保険料が増えます。「所得の低い人にもっと配慮した保険料算定の仕組みづくりを行うべき」と主張し、増額に反対しました。

また、後期高齢者医療制度の撤廃を主張するとともに、東京都の軽減策なども参考にして、保険料軽減を求めるよう主張しました。

国は地方交付金を減額、市がその分を肩代わりで借金、なんと520億円



財政問題について、国の財政の失敗を地方に押し付けている問題として、地方交付税交付金がどんどん減額されている問題を取り上げました。

国からくる交付金は年々減額されており、市の財政の先行きに大きな影を落としています。さらに国が自治体に払うべきお金を市に一時的に借金をさせているものが、07年度末で520億円を超え、一般会計の借金の3分の1にまでなっている実態をグラフで示しながら、国の責任を明らかにし、改善を国に要求するよう市長に迫りました。

井坂しんや議員団長

建設常任委員

本会議で資料を示し発言している

障がい者の「販売常設コーナー」設置」にむけて一歩前進

障がい者の問題では、以前から取り上げていた障がい者の雇用促進について質問し、施設管理を委託する要件として、障がい者雇用はどう取り組んでいるかなどを審査項目に入れることや障がい者作業所のワゴンセールを發展させ、常設コーナーを設ける提案に対しては、「作業所連絡会の方と相談する」との前向きな答弁があり、一歩前進となりました。



原子力空母母港化の是非を問う 住民投票条例制定の直接請求署名

横須賀の明日を拓く
52,438筆

「原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会」の署名は、一度議会で否決されたという難しさを伴う運動であったにもかかわらず、前回は1万筆以上を増やし、52,438筆(選管確定)になりました。

今回示された52,438筆は横須賀に吹き始めた住民自治の新しい風をいっそう力強くし、横須賀の明日を拓くものと確信します。

条例案は、5月の臨時議会で審議され、この報告がお手元に届けられる頃には結論が出ていると思いますが、日本共産党市議団は条例制定に全力をつくします。

くらしが厳しい…いついふときだからこそ くらしを応援する市政を

怒り噴出!!「後期高齢者医療制度」 撤廃させるしかありません



民生常任委員
大村洋子議員

民生常任
委員会

大村議員は昨年の12月の第4回定例会、この3月の第1回定例会と続けてこの問題をとりあげました。

国の制度であっても天引きは止めるべきと質すと、「手間が省ける」「忘れる心配はない」と国と同じ答弁。さらに、いままでの制度では高齢者には発行しなかつた資格証をどうするのか?と質問すると、新しい制度になるので収入の少ない高齢者でも払えなければ保険証を取り上げ「資格証を発行せざるを得ない」とこれも国の言いなりの冷たい姿勢です。大村議員は命にかかわることなので、保険証とりあげは止めるよう強く主張しました。

日本共産党はこの制度がいかに高齢者の尊厳や生活、生命を破壊するものであるかをこの制度が提案されたときから告発し、国に中止を求めてきました。実施後のいまでも中止を求めて全力をあげています。

万二、原子力災害がおこったらどうする? 米軍基地での「みこしパレード」

教育経済
常任委員会

予算規模を今年から倍にして行うはずだった『日米親善スプリングフェスタ』。米兵によるタクシー殺人事件で規模縮小。米軍との親善など成り立たないことがハッキリしました。

また、秋の『よこすかみこしパレード』は、昨年は5万人もの人出だったとのことです。夏に原子力空母が配備されたら万一の事故の時はどうするのでしょうか。国内の原子力発電所の敷地でお祭り騒ぎをする所があるでしょうか。「原子力災害は基地内に留まる」というアメリカの説明からしても安全をどう考えているのかと質しましたが、市は答えられませんでした。

市政アンケートへのご協力 ありがとうございました。



日本共産党市会議員団がおこないました市政アンケートに3,073通の回答が寄せられました。多くの方が自由記述欄にびっしり書いておられ、市政にたいする要望の切実さ、強さが示されています。ご協力に感謝いたしますとともに、ご要望を市政に生かすよう全力をつくしてまいります。いま集計作業中ですが、早急に分析をして発表する予定です。もう少しお待ち下さい。

地上150メートル、37階建て 大滝町の再開発事業

建設常任
委員会

大滝町の西友を中心とした再開発事業の計画概要が建設常任委員会に報告されました。都市計画審議会などの審議はこれからですが、計画によると地上約150メートル、37階建て。5階までが店舗でその上が住居となっております。今年中に都市計画決定をし、5年後の13年に完成予定。この再開発事業に国や県、市からも補助金がだされ、いまの予定では市の補助金は8億円となる見込みです。

常任委員会・ 特別委員会の報告



タクシー殺人事件で 6項目の緊急申し入れ (4月3日)

- 米軍人の外出禁止を求めること。
- 「日米親善よこすかスプリングフェスタ」を中止すること。また、米軍との親善行事はすべて中止すること。
- 米軍との友好親善の市の姿勢を抜本的に改めること。
- 米軍の教育プログラムの全面公開と見直しを求めること。
- 日米地位協定見直しを求めること。
- 原子力空母の配備は米兵犯罪をなくすためにも撤回を求めること。

市民の命と健康を守る公的役割果たせる 市民病院の改善をーねぎしかずこ議員

市民病院で過労死ラインと言われている月80時間以上の時間外労働に従事する医師が多数を占め、さらに産科・婦人科では24×32時間もの拘束となる当直(日直・宿直)が月8回にのぼっている問題を取りあげ、病院のあり方をただしました。労働基準監督署からも指導が入っているとの答弁に、過酷な労働条件の改善はもとより、医療ミスの発生につながる問題であると指摘し、早急な改善を迫りました。また、医療環境調査委託の目的は人件費の削減などをめざす国の「公立病院改革ガイドライン」に基づく「改革プラン」づくりのためであり、現状を悪化させることになりかねません。

医療環境問題
特別委員会



浜岡原子力発電所の 放射能監視体制を中心に視察

日本共産党市会議員団は1月28日、29日に舞鶴市と浜岡原子力発電所を視察しました。舞鶴市は民間に転用された旧海軍用地が自衛隊などに再転用されている実態について、また浜岡原発は放射能の監視体制を中心に視察・調査しました。原発の安全対策は事業者の情報公開が要であり、原子力空母が軍事機密優先では万全な安全対策は不可能、市のとりくみの不十分さを実感。早速代表質問でも取り上げました。

2008年度予算で 市民要望が実現されます

- 追浜・衣笠駅に待望のエレベーター設置 (浦賀駅のエレベーターは昨年予算化されましたが、京急の都合で延期されています。)
- 諏訪小学校の校舎・体育館建て替え基本設計
- 津波ハザードマップの作成
- 障がい者相談サポートセンター設置
- 学童クラブへの家賃補助限度額増額
- 妊婦健診公費負担回数を増やすなど拡充
- はしか・風しん予防接種の拡充
- 療育相談センター開設・運営
- 一時保護所(児童相談所併設)開設・運営
- 公立保育園の保育時間拡充

こんね

